



きっずる一むだより

第 55 号
令和 6 年 6 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずる一む県庁別館



雨の日が多い季節になりました。こどもたちにとって雨の日の楽しみの一つは普段は使えない長靴や傘が使えたり、水たまりで遊んだりできることです。

実は雨の降る音はランダムですが、ある程度規則性があり、f/1 ゆらぎ(人間が一番心地よく感じられるもの)を含んでいるそうです。雨というと憂鬱な気分になりやすいですが、雨の音を聞いてリラックスして過ごしましょう。

知識の発達



言葉を覚えて話せるようになってきた A ちゃん！ある日、1 人の保育者の名前を覚えて「B 先生！」と呼んだ A ちゃん。数日後、A ちゃんに「C 先生は？D 先生は？」と他の保育者の名前を聞くと指差しをして教えてくれました。保育者それぞれの顔が分かるようになってきた A ちゃんの姿に成長を感じました。きっずる一むではあまり保育者の名前まで覚える子がいなかったため、保育者一同嬉しくなりました！

A ちゃんの姿から見た発達

こどもは 1 歳から 2 歳にかけて言葉が理解できるようになり、少しずつ意味のある言葉を話すようになっていっています。

A ちゃんは普段の保育者同士の会話をよく聞いて覚えたようです。保育者の名前を覚えたことで保育者との信頼関係が深まってきたなと感じました。

この時期は知識が急速に発達し、言語の発達をする大事な時期でもあります。そのため、周囲の大人が沢山話しかけてあげることが大切です。

こどもの成長には周囲の大人の関わりが重要になってきます。

これからも、こどもが安心して遊べる場所を作っていきたいと思います。

これからだんだん暑い日も増えてくるため、食中毒対策をしていきましょう。
細菌が増えるのは 20°C~40°Cの間です。きっずる一むでは冷蔵庫で保冷することができないため、お弁当を持参する際は保冷剤を入れて持参するようにお願い致します。